

WOOD FRIENDS
DESIGN AND INNOVATION

第26期中間報告書

平成19年6月1日から平成19年11月30日まで

株式会社 **ウッドフレンズ**

Contents

株主の皆様へ	2
事業のご紹介	3
Topics	5
営業の概況	6
セグメント別業績の概況	7
連結財務ハイライト	8
連結決算の概要	9
個別決算の概要	11
株式の状況	13
会社の概要	14

ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第26期中間期（平成19年6月1日から平成19年11月30日まで）の事業概況をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当中間期の連結業績ですが、売上高及び営業利益は前年同期に比べて増加しました。これは、名古屋地域を中心とした住宅一次取得者層の旺盛な需要に支えられたことと、子会社における中古不動産再生事業とPFI事業によるゴルフ場運営の業績が順調に推移したことによるものであります。一方で経常利益は、用地仕入に伴う支払利息が増加したために、前年同期に比べて減少しました。また、当期純利益につきましても、本社ビルの施設老朽化により本社を移転することとしたために特別損失(減損損失)が生じ、経常利益と同様に減少しました。なお、通期につきましては、住宅事業での営業活動を引き続き積極的に推し進めてまいりますとともに、都市事業において販売用不動産物件の早期売却を計画しておりますので、当初予想の売上高及び利益を達成できる見込みであります。

さて、当グループを取り巻く環境は大きな転換期を迎えております。住宅分野においては、政府の200年住宅構想や住宅の省エネを促すための施策が平成20年度の税制改正大綱に盛り込まれるなど、環境問題への対応が加速しています。この問題に対する解を持たない企業は、必ずや淘汰されます。また、消費者の商品・サービスを選別する目が従来に増して厳しくなっていると同時に、企業の社会的責任が強く求められる時代になっています。加えて、事業のグローバル化の動きが加速していくと予測しております。企業の中長期的発展のためには、これらへの対応は必須であり、当グループは、現状を的確に把握し、不確定な未来へ向けて臆することなく変化対応していく所存です。

具体的には、当グループは「生活環境の創造」を事業領域として、環境・健康・安全・少子高齢・地域文化などの社会的理由を外さない商品・サービスの開発を行い、地域に必要とされる知的ディベロッパーを目指してまいります。また、マーケティング力と商品力を強化・高度化させながら事業の多様化を図るなかで、労働集約型事業から知的集約型事業及びサービス提供型事業へ展開していく方針であります。加えて、社員一人一人が自らの社会貢献を実感し、企業の品性を美しく保ち続けたいと考えております。そして、その成果が株主の皆様へ還元される経営を今後も推し進めていく所存です。どうか引き続き変わらぬご指導とご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



平成20年2月
代表取締役 前田 和彦

基本方針

当グループは、「美しくあること」という経営理念のもと、住宅や商業施設などを単に箱として販売するのではなく、不動産業や建設業というカテゴリーの既成概念に囚われず事業ポートフォリオの多様化を図り、「都会・大人・理性」というキーワードに沿ってブランドマーケティングを展開し、時代の変化スピードに柔軟に対応して、エンドユーザーに対して新しい価値を提供する企業を目指しております。

また、ビジョナリー・カンパニーの概念を導入しており、理念を共有できる適正な人材により、基本理念を維持し適正な方向へ進むことと、環境変化に対応するための大胆さと豊富なアイデアと挑戦する勇気を持ち続けていく方針であります。

住宅事業

ウッドフレンズの原点でもある住関連事業。自然素材や手づくりの持ち味を美的に完成させた、感性豊かな住まい。安心・安全・健康・快適などの基本性能にも磨きをかけ、プロのしつらえを施した「ひとつの作品」として、WOOD FRIENDS STYLE を追求しています。

■ 戸建住宅事業

あくまでも自分らしさ、我が家らしさにこだわる方に選んでいただきたい、感性を大事にした戸建住宅を提案しています。当社の戸建住宅は、「土地」＋「建物」という発想ではありません。環境に配慮し、完成度の高いプロのしつらえを施した「都市の住空間」を提供しています。美しく心地よく、そこに住まう人のアイデンティティをカタチにした住まい。経験豊かなスタッフが自信を持ってお届けするプランにより、理想の生活環境を提案しています。



沢上南の家（名古屋市熱田区）



鳴海の丘（名古屋市緑区）



福釜の家（愛知県安城市）



S 様邸（名古屋市千種区）



グランドメゾン御棚町 (リスタイル後)



グランドメゾン御棚町 (リスタイル前)

■ 中古不動産再生事業

独自のリサーチとマーケティングにより、中古のマンションや戸建住宅を取得。戸建住宅事業で培ったノウハウを住空間のリスタイルに活用して、新たなデザインとプランを施し、新築物件にはない価値を提供することで、新しいマーケットを創造しています。

■ ライフスタイル事業

住宅と同一のデザイン思想を用いた、家具やキッチン・洗面化粧台等のオリジナル商品群“F. PRODUCTS (エフ・プロダクツ)”。住空間を通じてライフスタイルを提案します。

都市事業

不動産を単に加工するのではなく、社会テーマ性やメッセージ性を有した独自性豊かな開発を行うことで、不動産利用の多角化・最適化を社会に提案しています。地域に必要とされる知的デベロッパーを目指す当社の戦略事業です。

■ 都市開発事業

時代を超え都市で利用されるもの、残されていくものを価値基準として、住宅事業で培ってきたノウハウをベースに、投資の観点から収益不動産の開発事業を推進しています。具体的には、マンションや商業テナントビル、オフィスビルの新規開発及び既存ビルのバリューアップを主な事業メニューとして、地域経済の活性化を目指した事業を展開しています。



栄4丁目プロジェクト (名古屋市中区) 計画中



愛知県森林公園ゴルフ場センターハウス

■ PFI事業

民間の資金・経営能力を活用して公共施設等の建設・維持管理・運営等を行うPFI事業。当社が代表企業として組成した企業グループは、愛知県初のPFI事業（森林公園ゴルフ場施設整備等事業）の事業者を選定され、地域文化の新たな活性化を担うべく、愛知県森林公園ゴルフ場を運営しています。

愛知県森林公園ゴルフ場 運営状況

株式会社ウッドフレンズが筆頭株主として設立した森林公園ゴルフ場運営株式会社は、平成19年4月1日より愛知県森林公園ゴルフ場の運営を開始しました。当ゴルフ場は、「ナチュラルスポーツゴルフ」という運営コンセプトを掲げ、心身の健康のために人がスポーツと自然体で触れ合う場を整備し、快適に楽しんでいただけるゴルフ環境づくりを目指しております。



愛知県森林公園ゴルフ場

営業状況は順調に推移しており、初年度の来場者数は当初予定を達成する見込みであります。地域の皆様に愛されるゴルフ場としての第一歩を着実に踏み出しました。また、ゴルフ場運営における環境負荷の軽減を目指し、環境関係の国際標準規格ISO14001の認証取得を目指すなど、地球環境に配慮した運営を実現する取り組みを始めています。当グループは、当ゴルフ場の経営の基本思想である「20年間の安定経営」「資産価値の最大化」「県と県民への還元」を念頭に、今後も適正な設備投資の実施、サービスの質の向上に努め、ゴルフ場としての付加価値を高めることにより、地域の生活文化に対して貢献するとともに、収益性の高いゴルフ場運営を目指します。

JM335プロジェクト引渡完了



JM335 (東京都渋谷区)

当グループが前期より企画してきました東京都渋谷区神宮前「JM335プロジェクト」は、平成19年5月に竣工し、同年7月に機関投資家へ引渡を完了しました。当プロジェクトは「裏原宿の新たな集落」をコンセプトに掲げ、誘引性の強い歩行空間、周辺環境と調和した豊かなアプローチを有した建物です。テナント募集時には多数の引き合いがあり、現在は、有名美容室やアパレルのセレクトショップ等が入居し、地域での話題となっております。このプロジェクトにより、今まで人通り

が少なかった路地に新たな人の流れができ、活気ある街並みになりつつあります。

現在も都心で複数のプロジェクトを推進しており、不動産が持つポテンシャルを最大限に引き出し、的確なマーケット分析により、時代と地域社会に必要とされる利用価値を提供できる開発を進めてまいります。

営業の経過及び成果

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、原油価格の高騰や米国でのサブプライム住宅ローン問題といった懸念材料があったものの、設備投資の増加や個人消費の底堅い推移に支えられ、緩やかながらも拡大を続けてまいりました。

不動産業界におきましては、三大都市圏及び地方中心都市における商業地の地価に上昇傾向が見られました。また、当グループの事業に関係の深い名古屋圏においては、自動車関連産業の好景気が後押しする形で、商業地・住宅地ともに地価が上昇しました。一方で、改正建築基準法の施行により、全国的に新設住宅着工戸数が前年を大幅に下回り、住宅業界は厳しい環境となりました。

このような状況下、当社の主力事業であります住宅事業は、戸建分譲住宅分野において建築条件付土地分譲による販売比率を高めたことにより、一部の物件の引渡しが下半期となったことを主な要因として、目標としておりました販売戸数には至りませんでした。しかしながら、名古屋地域を中心とした一次取得者層の旺盛な需要に支えられたことと、子会社における中古不動産再生事業が順調に推移したため、売上高及び営業利益ともに前年同期と比較して増加しました。都市事業は、市場環境の変化を見極めながら物件の取得・開発を進めるとともに、下半期に販売を実現すべく準備を進めてまいりました。一部の物件売却に遅れが生じたものの、平成19年4月にリニューアルオープンしたPFI事業による愛知県森林公園ゴルフ場での来場者が順調に推移したことにより、住宅事業と同様、売上高及び営業利益ともに前年同期と比較して増加しました。

事業の種類別セグメントの業績を示すと、以下のとおりであります。

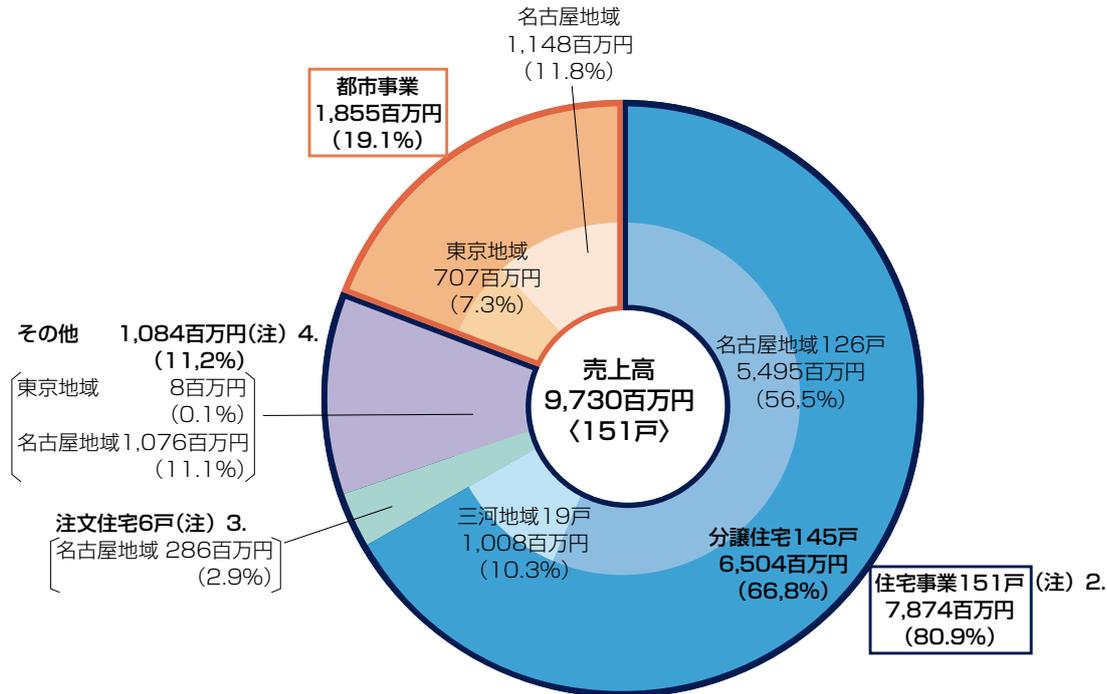
住宅事業	分譲住宅145戸(前年同期比2.1%増)、注文住宅6戸(前年同期比14.3%減)の販売に加えて、中古不動産の販売が順調に推移したこと等により、売上高は7,877百万円(前年同期比11.8%増)、営業利益は397百万円(前年同期比8.4%増)となりました。
都市事業	名古屋地域での分譲マンション9戸、東京地域での商業施設1棟を販売したことに加え、ゴルフ場運営による収益が寄与し、売上高は1,858百万円(前年同期比92.9%増)、営業利益は179百万円(前年同期比61.6%増)となりました。

なお、本社ビルの施設老朽化が進んできたために本社を移転することとなり、当中間連結会計期間において、本社ビルの減損処理による損失を特別損失(減損損失)として192百万円計上しました。

その結果、当中間連結会計期間の売上高は9,730百万円(前年同期比21.6%増)、営業利益は345百万円(前年同期比13.2%増)、経常利益は183百万円(前年同期比13.9%減)となり、中間純利益は14百万円(前年同期比91.7%減)となりました。

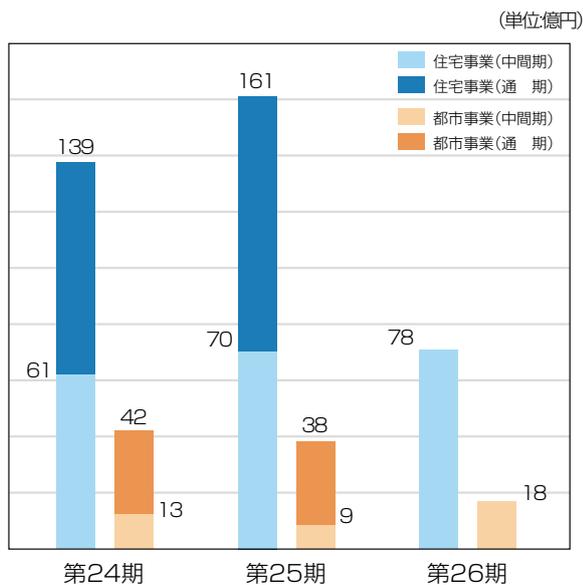
セグメント別業績の概況

セグメント別売上構成

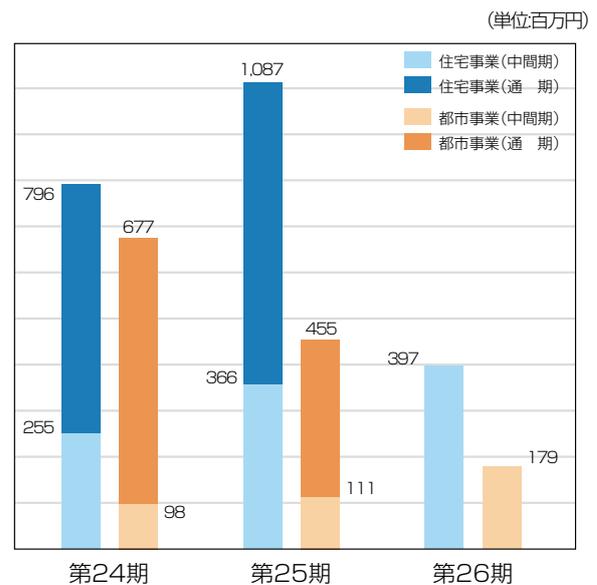


- (注) 1. 金額は、それぞれ百万円未満を切り捨てて表示しております。
 (注) 2. 住宅事業 (名古屋地域) の金額には、中古不動産の販売分が含まれておりますが、数量には中古不動産の販売分が含まれておりません。
 (注) 3. 住宅事業 - 注文住宅の金額には、追加工事分が含まれておりますが、数量には追加工事分が含まれておりません。
 (注) 4. 住宅事業 - その他には、インテリアの販売および土地のみの販売等が含まれます。

セグメント別売上高推移



セグメント別営業利益推移



※セグメント別売上高およびセグメント別営業利益は、セグメント間の内部取引高の消去前を表示しています。

連結財務ハイライト

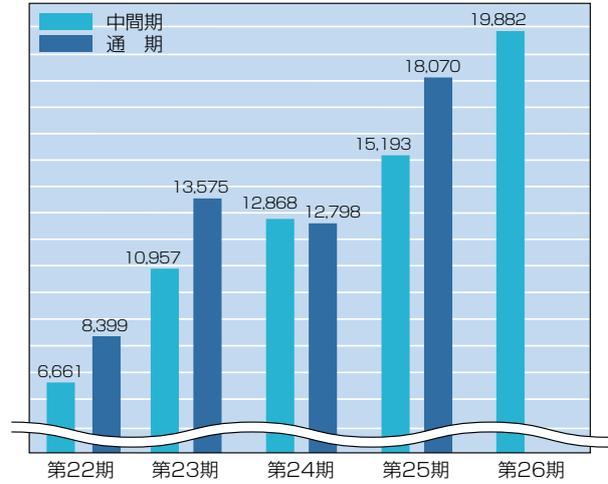
売上高

(単位:百万円)



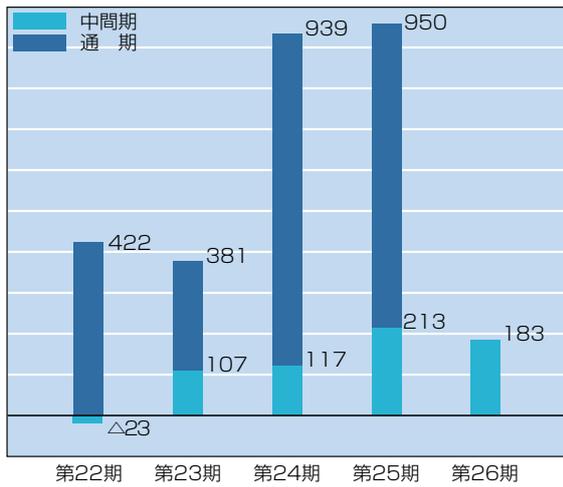
総資産

(単位:百万円)



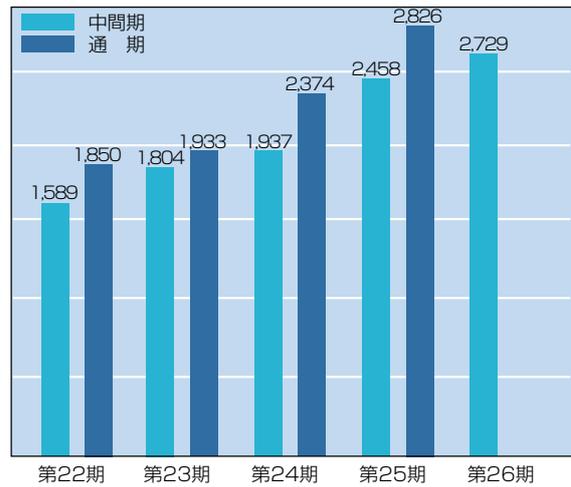
経常利益

(単位:百万円)



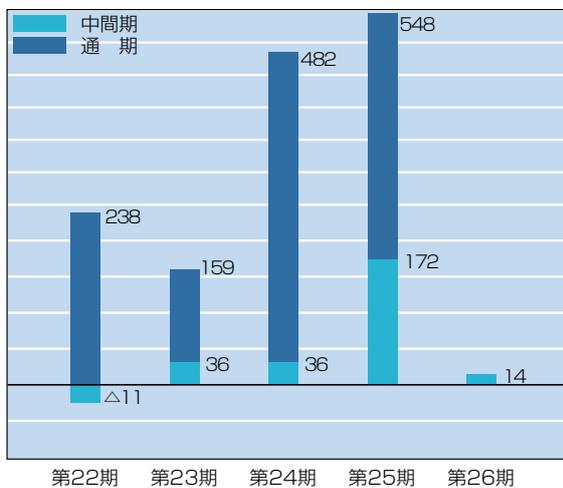
純資産

(単位:百万円)



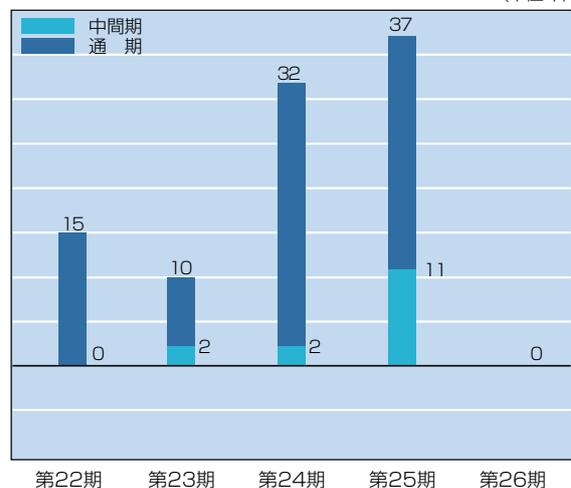
当期純利益

(単位:百万円)



一株当たり当期純利益

(単位:千円)



※当社は、平成18年6月1日をもって1対4の株式分割を実施しており、第24期以前の1株当たりの数値は当該期首に分割が行われていたと仮定した金額となっています。

連結決算の概要

中間連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	前中間連結会計期末 (平成18年11月30日現在)	当中間連結会計期末 (平成19年11月30日現在)	前連結会計年度 要約連結貸借対照表 (平成19年5月31日現在)
	金 額	金 額	金 額
資産の部			
流動資産			
現金及び預金	967,307	1,325,747	656,295
完成工事未収入金及び売掛金	20,133	77,313	47,919
たな卸資産	11,146,065	14,443,792	12,785,475
その他	226,905	546,261	667,100
流動資産合計	12,360,412	16,393,115	14,156,789
固定資産			
有形固定資産合計	2,470,258	3,049,035	3,432,291
無形固定資産合計	41,505	151,140	168,708
投資その他の資産合計	320,934	289,581	312,992
固定資産合計	2,832,698	3,489,757	3,913,992
資産合計	15,193,111	19,882,872	18,070,782
負債の部			
流動負債			
工事未払金及び買掛金	1,337,310	1,451,736	1,577,606
1年内償還予定社債	220,000	10,000	220,000
短期借入金	6,680,400	10,567,460	8,589,951
1年内返済予定長期借入金	582,606	1,180,034	405,655
未払法人税等	43,346	22,485	404,064
完成工事補償引当金	79,732	65,052	65,500
その他	536,500	569,924	505,913
流動負債合計	9,479,896	13,866,695	11,768,692
固定負債			
社債	10,000	200,000	-
長期借入金	2,853,594	2,607,706	3,009,744
その他	391,232	479,124	466,218
固定負債合計	3,254,826	3,286,831	3,475,963
負債合計	12,734,722	17,153,526	15,244,655
純資産の部			
株主資本			
資本金	279,125	279,125	279,125
資本剰余金	269,495	269,495	269,495
利益剰余金	1,835,681	2,136,939	2,211,427
株主資本合計	2,384,301	2,685,559	2,760,047
評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金	74,086	43,786	66,079
少数株主持分	-	-	-
純資産合計	2,458,388	2,729,346	2,826,127
負債・純資産合計	15,193,111	19,882,872	18,070,782

中間連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前中間連結会計期間 (自平成18年6月1日 至平成18年11月30日)	当中間連結会計期間 (自平成19年6月1日 至平成19年11月30日)	前連結会計年度 要約連結損益計算書 (自平成18年6月1日 至平成19年5月31日)
	金 額	金 額	金 額
売上高	8,000,323	9,730,746	19,962,303
売上原価	6,872,029	8,387,048	17,018,223
売上総利益	1,128,293	1,343,697	2,944,079
販売費及び一般管理費	822,686	997,875	1,793,306
給与手当	197,081	242,763	464,760
販売手数料	94,957	151,414	245,405
広告宣伝費	154,246	173,197	348,653
完成工事補償引当金繰入額	33,900	26,138	46,644
その他	342,500	404,360	687,842
営業利益	305,607	345,821	1,150,773
営業外収益	9,782	14,087	19,988
受取利息	52	467	463
受取配当金	847	917	1,028
受取手数料	983	7,400	10,062
その他の営業外収益	7,898	5,301	8,434
営業外費用	101,902	176,183	220,728
支払利息	99,134	163,276	201,676
その他の営業外費用	2,767	12,905	19,052
経常利益	213,487	183,725	950,033
特別損失	39	192,645	16,554
減損損失	-	192,645	-
固定資産除却損	39	-	16,554
税金等調整前中間(当期) 純利益又は純損失(△)	213,448	△ 8,920	933,479
法人税、住民税及び事業税	40,818	20,365	432,099
法人税等調整額	635	△ 43,597	△ 46,360
少数株主損失	495	-	495
中間(当期)純利益	172,488	14,311	548,234

連結対象子会社(5社)

会社名	資本金	当社の 議決権比率	主な事業内容
株式会社 Design & Construction	90百万円	100%	中古不動産の 加工・販売
株式会社 FOREST NOTE	90百万円	100%	家具・建材の 卸売
森林公園 ゴルフ場運営 株式会社	10百万円	70%	愛知県森林公園 ゴルフ場の施設の 設計・建設・運営業務
株式会社 リアルウッド マーケティング	10百万円	100%	不動産の仲介、 売買業務
株式会社 フジ商会	10百万円	100%	ビルメンテナンス・ マンション管理業務

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自平成18年6月1日 至平成18年11月30日)	当中間連結会計期間 (自平成19年6月1日 至平成19年11月30日)	前連結会計年度 (自平成18年6月1日 至平成19年5月31日)
	金額	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,986,854	△ 1,291,514	△ 3,587,914
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 689,037	△ 288,047	△ 1,103,761
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,183,002	2,249,014	3,887,774
現金及び現金同等物の増減額	△ 492,889	669,452	△ 803,901
現金及び現金同等物の期首残高	1,460,196	656,295	1,460,196
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	967,307	1,325,747	656,295

中間連結株主資本等変動計算書 当中間連結会計期間(自平成19年6月1日 至平成19年11月30日)

(単位：千円)

	株主資本				評価・換算差額等		少数株主持分
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成19年5月31日残高	279,125	269,495	2,211,427	2,760,047	66,079	66,079	-
中間連結会計期間中の変動額							
剰余金の配当	-	-	△ 88,800	△ 88,800			
中間純利益	-	-	14,311	14,311			
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)					△ 22,292	△ 22,292	-
中間連結会計期間中の変動額合計	-	-	△ 74,488	△ 74,488	△ 22,292	△ 22,292	-
平成19年11月30日残高	279,125	269,495	2,136,939	2,685,559	43,786	43,786	-

中間連結株主資本等変動計算書 前中間連結会計期間(自平成18年6月1日 至平成18年11月30日)

(単位：千円)

	株主資本				評価・換算差額等		少数株主持分
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成18年5月31日残高	279,125	269,495	1,751,992	2,300,612	73,584	73,584	495
中間連結会計期間中の変動額							
剰余金の配当	-	-	△ 88,800	△ 88,800			
中間純利益	-	-	172,488	172,488			
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)					502	502	△ 495
中間連結会計期間中の変動額合計	-	-	83,688	83,688	502	502	△ 495
平成18年11月30日残高	279,125	269,495	1,835,681	2,384,301	74,086	74,086	-

個別決算の概要

中間貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当中間会計期間末 (平成18年11月30日現在)	当中間会計期間末 (平成19年11月30日現在)	前事業年度 要約貸借対照表 (平成19年5月31日現在)
	金 額	金 額	金 額
資産の部			
流動資産			
現金及び預金	933,130	893,455	508,481
完成工事未収入金	6,781	7,111	12,627
売掛金	742	4,055	1,224
たな卸資産	10,620,336	13,583,622	11,998,008
その他	247,776	474,379	506,830
流動資産合計	11,808,768	14,962,624	13,027,172
固定資産			
有形固定資産合計	1,269,608	1,382,794	1,725,401
無形固定資産合計	41,443	34,927	39,651
投資その他の資産合計	854,747	836,313	853,041
固定資産合計	2,165,799	2,254,035	2,618,094
資産合計	13,974,568	17,216,660	15,645,266
負債の部			
流動負債			
工事未払金	970,396	1,366,985	1,085,397
買掛金	17,031	20,643	14,639
1年内償還予定社債	220,000	10,000	220,000
短期借入金	6,341,750	9,766,053	7,802,450
1年内返済予定長期借入金	582,606	1,073,368	355,656
未払法人税等	32,020	3,210	357,445
未成工事受入金	356,177	261,766	142,536
完成工事補償引当金	77,658	63,000	63,900
その他	165,728	180,733	244,262
流動負債合計	8,763,367	12,745,760	10,286,288
固定負債			
社債	10,000	200,000	-
長期借入金	2,403,594	1,141,040	2,059,744
その他	384,187	465,912	453,281
固定負債合計	2,797,781	1,806,952	2,513,025
負債合計	11,561,149	14,552,712	12,799,313
純資産の部			
株主資本			
資本金	279,125	279,125	279,125
資本剰余金	269,495	269,495	269,495
利益剰余金			
利益準備金	69,781	69,781	69,781
別途積立金	1,170,000	1,170,000	1,170,000
繰越利益剰余金	550,930	831,759	991,472
株主資本合計	2,339,331	2,620,160	2,779,873
評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金	74,086	43,786	66,079
純資産合計	2,413,418	2,663,947	2,845,953
負債・純資産合計	13,974,568	17,216,660	15,645,266

中間損益計算書

(単位：千円)

科 目	前中間会計期間 (自平成18年6月1日 至平成18年11月30日)	当中間会計期間 (自平成19年6月1日 至平成19年11月30日)	前事業年度 要約損益計算書 (自平成18年6月1日 至平成19年5月31日)
	金 額	金 額	金 額
売上高	7,458,516	8,000,686	18,707,202
売上原価	6,412,510	6,963,990	15,961,703
売上総利益	1,046,005	1,036,695	2,745,499
販売費及び一般管理費	759,721	830,892	1,653,872
給与手当	147,411	155,446	332,654
販売手数料	168,773	187,606	406,359
広告宣伝費	146,908	159,469	325,816
完成工事補償引当金繰入額	32,900	25,138	44,960
その他	263,727	303,230	544,081
営業利益	286,284	205,802	1,091,627
営業外収益	26,867	26,364	47,092
受取利息	14,740	16,689	31,120
受取配当金	847	2,714	1,028
受取手数料	3,663	4,479	6,771
その他の営業外収益	7,616	2,481	8,171
営業外費用	96,390	141,854	186,025
支払利息	94,622	137,716	182,513
その他の営業外費用	1,767	4,138	3,512
経常利益	216,761	90,313	952,693
特別損失	138,039	203,495	120,554
減損損失	-	192,645	-
貸倒引当金繰入額	138,000	10,850	120,000
固定資産除却損	39	-	554
税引前中間(当期)	78,722	△ 113,182	832,139
純利益又は純損失(△)			
法人税、住民税及び事業税	29,491	1,079	380,466
法人税等調整額	4,408	△ 43,349	△ 33,691
中間(当期)	44,822	△ 70,913	485,364
純利益又は純損失(△)			

中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間(自平成19年6月1日 至平成19年11月30日)

(単位:千円)

	株主資本				評価・換算差額等	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計
平成19年5月31日残高	279,125	269,495	2,231,253	2,779,873	66,079	66,079
中間会計期間中の変動額						
剰余金の配当	-	-	△ 88,800	△ 88,800		
中間純利益	-	-	△ 70,913	△ 70,913		
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額(純額)					△ 22,292	△ 22,292
中間会計期間中の変動額合計	-	-	△ 159,713	△ 159,713	△ 22,292	△ 22,292
平成19年11月30日残高	279,125	269,495	2,071,540	2,620,160	43,786	43,786

中間株主資本等変動計算書

前中結会計期間(自平成18年6月1日 至平成18年11月30日)

(単位:千円)

	株主資本				評価・換算差額等	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計
平成18年5月31日残高	279,125	269,495	1,834,689	2,383,309	73,584	73,584
中間会計期間中の変動額						
剰余金の配当	-	-	△ 88,800	△ 88,800		
中間純利益	-	-	44,822	44,822		
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額(純額)					502	502
中間会計期間中の変動額合計	-	-	△ 43,977	△ 43,977	502	502
平成18年11月30日残高	279,125	269,495	1,790,711	2,339,331	74,086	74,086

配当政策

当グループは、株主尊重の意義の重要性を念頭に、株主への利益還元を経営の最重要課題のひとつと捉えております。

業績の動向や経営環境等を総合的に勘案し、将来の事業展開に備えて財務体質の強化のため必要な内部留保と株主の皆様の期待にお応えできるようなバランスの取れた還元や配当性向を重視した配当政策を実施していく方針であります。

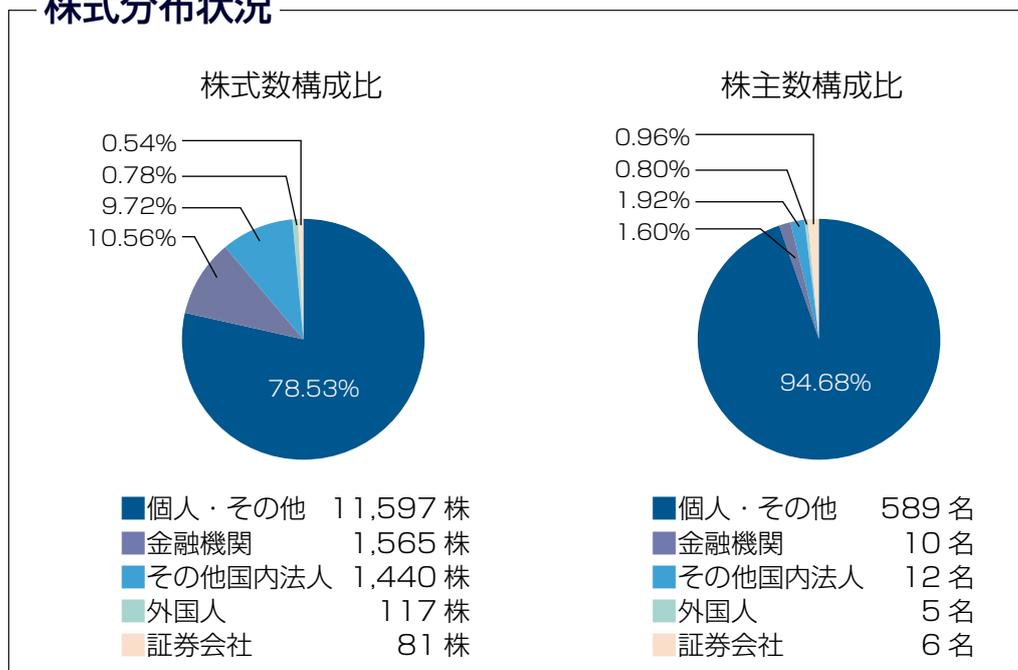
株式の状況

会社が発行する株式の総数…………… 48,000 株
 発行済株式の総数…………… 14,800 株
 株主数…………… 622 名

大株主

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
前 田 和 彦	5,756	38.89
前 田 扶 美 子	1,440	9.72
東 邦 レ オ 株 式 会 社	1,200	8.10
松 岡 明	480	3.24
橘 俊 夫	452	3.05
柴 田 芳	400	2.70
株式会社みずほ銀行	360	2.43
株式会社三菱東京UFJ銀行	360	2.43
株式会社十六銀行	240	1.62
株式会社りそな銀行	240	1.62
株式会社愛知銀行	160	1.08

株式分布状況



会社の概要

商号 株式会社ウッドフレンズ
設立 昭和57年11月26日
資本金 279,125,000円
社員数 72名
本社 〒461-0004
名古屋市東区葵三丁目22番8号
ニューザックビルディング4F
TEL 052-937-0192 (代表)
FAX 052-937-0392
※平成20年1月28日付にて、上記住所に移転しております。

主要な事業所 東京オフィス
東京都渋谷区神宮前二丁目6番10号
パークレーン3F
店舗「エフ・プロダクツショップ」
名古屋市東区筒井三丁目27番24号
モデルハウス「クレモーナ」
名古屋市昭和区八事本町16番
(メ〜テレ八事ハウジング内)
モデルハウス「生成りの家」
愛知県大府市吉田町正右工門新田41番49号
(健康木の住まいウッドビレッジ内)

関連会社 株式会社 Design & Construction 株式会社 FOREST NOTE
森林公園ゴルフ場運営株式会社 株式会社リアルウッドマーケティング
株式会社フジ商会

役員構成 代表取締役 前田 和彦
兼執行役員
(兼 森林公園ゴルフ場運営株式会社代表取締役)
取締役 松浦 和雄
兼執行役員
取締役 笹原 利明
兼執行役員
(兼 株式会社 Design&Construction 代表取締役)
取締役 佐藤 昭彦
兼執行役員
執行役員 柴田 芳
(兼 株式会社 FOREST NOTE 代表取締役)
執行役員 大竹 康明
執行役員 良川 公男
常勤監査役 井尾 雅彦
監査役 松本 哲男

取引銀行 愛知銀行 いちい信用金庫
大垣共立銀行 関西アーバン銀行
岐阜銀行 静岡銀行 十六銀行
商工組合中央金庫 瀬戸信用金庫
中央三井信託銀行 東濃信用金庫
豊田信用金庫 名古屋銀行
百五銀行 北陸銀行 三重銀行
みずほ銀行 三井住友銀行
三菱東京UFJ銀行 山口銀行
りそな銀行 (アイウエオ順)

事業許可番号 特定建設業
愛知県知事許可(特-18)第40178号
宅地建物取引業
国土交通大臣免許(2)第6013号
一級建築士事務所
愛知県知事登録(い)第5644号

株式会社リアルウッドマーケティング
代表取締役 矢住 太郎

株式会社フジ商会
代表取締役 堀口 弘

株主メモ

事業年度 6月1日から翌年5月31日まで

期末配当基準日 5月31日

なお、中間配当を実施する場合の株主確定日は、11月30日といたします。

定時株主総会 8月

株主確定基準日 5月31日

そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

公告方法 電子公告

ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

電子公告のホームページアドレス

<http://www.woodfriends.co.jp/ir/index.html>

会計監査人 あずさ監査法人

株式名義書換

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号 〒105-8574
中央三井信託銀行株式会社

同事務取扱場所 名古屋市中区栄三丁目15番33号 〒460-8685
中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店証券代行部
電話0120-78-2031(フリーダイヤル)

同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店

貸借対照表および損益計算書
掲載のホームページアドレス <http://www.woodfriends.co.jp/ir/kessan.html>

(お知らせ)

住所変更、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は下記の株主名簿管理人の中央三井信託銀行のフリーダイヤルまたはホームページをご利用下さい。

- フリーダイヤル 0120-87-2031(24時間受付:自動音声案内)
- ホームページ http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

株式会社 **ウッドフレンズ**

本 社 名古屋市東区葵三丁目22番8号
ニューザックビルディング4F
T E L (052) 937-0192 (代表)
U R L <http://www.woodfriends.co.jp>